

樽潮陵、樽水が代表

北照 まさかのコールド負け

夏の高校野球予選

小樽支部

最終日の2日はA、Bブロック代表決定戦2試合を行った。Aブロックは樽潮陵が、昨夏の甲子園出場校で今春の全道大会も制した北照に9-2で七回コールド勝ちし、3年ぶり22度目の南北海道大会出場を決めた。Bブロックは樽水が9-4で倶知安を破った。樽水の同大会進出は3年連続5度目。

南北海道大会は17日から札幌円山球場で開かれる。

(小野聡子)

▽Aブロック代表決定戦
樽潮陵 10100100729
北照 1010000029
(七回コールドゲーム)
(潮) 原田一五十嵐
(北) 斎藤一川口
▽本塁打 五十嵐(潮)
▽三塁打 千葉(潮)
▽二塁打 五十嵐(潮)、川口、土門(北)
(樽潮陵は3年ぶり22度目)

1イニングで決めた

樽潮陵

樽潮陵打線が北照のエース斎藤を打ち崩した。樽潮陵は同点で迎えた七回、2アウト走者なしから奈良の適時打など3連打で1点勝ち越すと、五十嵐の右翼線への適時二塁打、さらに敵

昨夏は甲子園に出場し、今春も全道を制した強豪北照との1点を争う戦いを、樽潮陵がたった1イニングで制した。「慎重に行っても勝てな

い。失敗をおおせずに攻めの姿勢で行こう」。ナインと簾内監督の強い思いが結実したのは七回だった。2者連続三振で無得点かと思われた直後、9番佐藤一、

佐藤翔、奈良の3連打で1点勝ち越すと、ベンチには笑顔があふれ、ムードは最高潮に。4番五十嵐が右翼線適時二塁打で続くなど勢いは止まらず、7打者連続で生還した。

されのあるスライダーを低めに集めたエース原田(3年)は「相手にプレッシャーを与えなければ」と七回裏も平常心を保ち、北



〔樽潮陵—北照〕校歌を歌い終え、勝利の喜びをかみしめ駆け出す樽潮陵ナイン

◇小樽支部 (小樽市宮桜ヶ丘球場)

北寿	潮陵	照都工	10-0
樽樽	潮陵	潮陵	7-5
樽岩	潮陵	潮陵	9-2
双俱	潮陵	潮陵	7-5
樽俱	潮陵	潮陵	21-0
余市	潮陵	潮陵	7-3
真蘭	潮陵	潮陵	5-2
	潮陵	潮陵	9-4
	潮陵	潮陵	10-0
	潮陵	潮陵	10-3
	潮陵	潮陵	27-1

照の強力打線を無得点に抑えた。簾内監督も「ピンチに動じない、堂々としたピッチング」とたたえる。実力には定評がありながら、過去3年間のうち4大会の支部予選で北照に敗れ、全道や南北海道大会への出場を阻まれてきた。「夢かと思うくらい最高の瞬間だった。これを自信にして円山でも一戦必勝で臨みたい」と主将の石田(3年)。潮陵ナインは念願の舞台へ、力強い一歩を踏み出した。

▽Bブロック代表決定戦
倶知安 000012201004
樽水 00030120031094
(倶) 渡辺任、平野、松本、片桐一、沖田
(水) 柴田一、村井恭
▽三塁打 加藤(倶)
▽二塁打 柴田、平野、奈良(水)
(樽水は3年連続5度目)

五回に同点に追いつかれた樽水はその裏、柴田、奈良、小鷹の3安打に四球と犠打を絡めて2点勝ち越し。1点を返されたが、七回2死三塁から4連打で3得点、八回にも1点を加えリードを広げた。積極的に次の塁を狙った倶知安は6盗塁を成功させた一方、走塁ミスでチャンスをつぶす場面も目立った。